

# 男女共同参画通信

GENDER EQUALITY NEWSLETTER BY WINGS KYOTO

March 2021  
@KYOTO CITY

vol.51

セクシュアルマイノリティの

「アライ」

になるってなんだろう？



京都市  
CITY OF KYOTO



京都のまちの人たちと考える!

# 「アライ」ってなんだろう?

what is an Ally?



あなたは「アライ (Ally)」という言葉を知っていますか?  
「セクシュアルマイノリティの当事者ではないけれど、当事者を理解し支援する人」を意味するこの言葉。では、誰かの「アライになる」とは、どういうことなのでしょう。京都のまちで、「アライ」な関係を築く2組に聞きました。

## 大切なのは「しんどい」と言える関係

でも今も学びの連続で。前にFtMのトランスジェンダーの友達のことを「彼女」って呼んだら、「俺、彼、やから!」って訂正してもらったことがあったんです。その時は、「ああ! すまん!」って言って、次からは直しました。そういう時は、謝って学んで、変えていくしかない、って思っています。間違える前で止まっていたら、進んでいかなから。

うん。セクシュアルマイノリティの人の中には、言われた事に疑問を感じても「これ言ったらどう思われるかな」って気にして「うっ」ってこらえてしまう人も多い気がする。だからそうやって言い合えるのは、いい関係を築けているんだなって思うよ。



Story 1  
まっぺさん (アライ) まいこさん  
京都市内でLGBT 向けの交流会を企画する活動を行うまいこさん。友人のまっぺさんは市内でもよぎ蒸しサロンを経営。

## 「信頼できる友達」が気づけば「アライ」だった

もともと出会った時から「私はバイセクシュアルです!」ってがっつり説明していたわけじゃなくて、ゆるやかな友人関係を続ける中で自然と「私こんなセクシュアリティで!」って話した感じだったよな。

うん、ものすごい自然だった! そこからセクシュアリティについていろいろなことを、まいこちゃんやその友達と話して。私、けっこうストレートに聞いちゃったよね (笑)。

そうそう (笑)。まっぺちゃんは素直に質問してくれるから、かえって話しやすかった。それは「アライ」であるかどうか以前に、まっぺちゃんが私にとって信頼できる「大

んな人間関係を作る時も同じだけど、わからなかったら聞ける関係であること。しんどい時にしんどいって言うことができること、なんじゃないかな。特別な事じゃないのかもね。

うん。私はセクシュアリティについて何か聞かれたら、私が知っている範囲で説明するし、わからないことは一緒に悩んで考えますっていうスタンスです。私たちの活動にも、いろんな人が「友達」になりにきてくれたらいいなあって思っています。

\* FtM: 出生時に割り当てられた性別は「女性」だが、自認する性別が「男性」である人



Story 2  
なみさん (アライ) Yさん  
京都をもっとカラフルに! をテーマに活動するLGBTQ サークル「カラフル」のメンバー。なみさんはリーダーのYさんとイベントの考案等を行っている。

好きな友達」だったからかもしれない。セクシュアリティは私という人間のほんの一部だし、それよりも「私」自身を知って、てくれられているってことが大事。そもそも安心できる関係性があつたんだと思う。

まいこちゃんと出会って、セクシュアリティってすごく多様でバラエティに富んでいるんだなってことがわかってきた。私が自分のことを「アライ」って呼び始めたのは、まいこちゃんがやっているセクシュアルマイノリティの集まりに参加した時の自己紹介だったかな。私は当事者ではないし、なんて説明しよう、ってなった時、他の人が「私はアライです!」って言っているのを見て「あ、じゃあアライだ!」って (笑)。

前にまっぺちゃん、自分のお店のブログに「アライ」の意味と「このお店はアライです!」って書いてくれたことがあったよな。それ読んで友達と「まっぺちゃんスゲー!」ってきゅーきゅー言って盛り上がったんだよ。

それを伝えることで知ってくれたり、安心して来てくれる人がいるなら、と思って。私もこうやってまいこちゃんに出会わなかったらずっと他人事のままだだったと思うから。

## 「アライ」という言葉があるから気づけたこと

僕が主催した、LGBTQ への理解を深めるための誰でも参加できる交流イベントになみさんが来てくれて、そこで出会ったんだよね。

そうそう。Yさんがイベントの募集文に書いていた「京都をもっと多様性のある場所にしたい」って言葉がすごくいいなって思って参加して。でも、セクシュアルマイノリティの当事者ではなかったし、詳しいわけでもなかった。

なみさんが「興味はあるけどあんまりよくわかっていない」って率直に話してくれたから、僕も知らない人にどう伝えたらいいのか考えたり、お互いにいろんなことを伝え合っつけかけになったと思う。そこから一緒にLGBTQ 団体を立ち上げて。

うん。そうやって活動していくなかで徐々に、「アライ」って自分を説明し始めた感じ。この言葉が「アライ」という存在を知るきっかけになったから、言葉の力って大きくなって思う。

### CASE 1

「僕、同性が  
好きなんだ」

「そうなんだ。  
私もゲイの友達  
いるからわかるよ」

詳しい話も聞かずに、同じ属性の人を持ち出してわかった気になられる。相手は「何がわかるの?」と嫌な気分になるし、「よくある大したことない話」とされているようで失礼に感じるはず。人それぞれ性のあり方は異なり、無根拠な決めつけは厳禁。まず相手の個別の状況に耳を傾けましょう。

「私、男として生まれたけど  
今は女性として暮らしてるんだ」

「そっか。私、偏見がないから  
大丈夫だよ。同性が好きなんだよね」

### CASE 2

偏見ないよ!!



「偏見がない」ことの表明は相手を傷つけない証明にはなりません。また、相手はおそらく“出生時の性別と異なる性を自認する”トランスジェンダーで同性愛ではないのに、この人は混同しているようです。的外れな自己アピールよりも、誠意を伝え、正しい知識で相手の状況を理解することが大事です。

### CASE 3

「私、多分、  
男の子だけじゃなくて女子も  
好きになるっばいんだよね…」

「バイセクシュアルってこと?  
悩んでいたならもっと早く言っ  
てくれればよかったのに」

相手が「悩んでいる」と言えなかったのは、おそらく「言ってもどうせわかってくれない」と感じていたからでしょう。なのに「早く言わなかったあなたが悪い」と責めるのは、言えない苦勞を見過ごしています。落ち着いて「気づかなくてごめん、何かできることはある?」と伝える方が、相手は安心するはず。

「よかれと思った」  
そのセリフが、  
相手をモヤモヤ  
させている?

相手に安心して欲しい、力になりたい—  
そんな「良心」や「善意」の言葉が、  
相手を重たい気持ちにさせ、傷つけることがあります。  
あなたはこんな場面に身に覚えがありませんか?



監修 /

『10代から知っておきたい  
あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』  
(WAVE 出版, 2020)  
著者 森山至貴 先生



僕自身は、お互いのことを全く知らない状態でセクシュアリティをカミングアウトして、こうして安心して話せる関係を作れたってことにすごく希望を感じています。こういう人が身近に一人増えるだけでも変わるんだって思った。

誰もが誰かの  
「アライ」になれる



今では自分のことを「アライ」だなんて思っているけど、実は始めのころは、自分を「アライ」って呼ぶことにちょっと抵抗があつて、「支援する側」と「支援される側」という形で二分化してしまう、壁を作ってしまうような気がしたんです。  
また、相手がセクシュアルマイノリティであることで日々感じる苦しみを私は体験していないから、100%理解することはできません。それによって、私の発言が本来の意図と違うように解釈されてしまったり、相手を



傷つけてしまったら嫌だなと思いい、活動がしんどくなったことがありました。  
心配になって連絡したら、そのことを話してくれて。



Yさんが声をかけてくれて、自分の中で整理していくうちに、罪悪感を抱いて敏感になりすぎて、何も言えなくなってしまうのは違うなと思って。私は相手のことをもっと知りたいから、プレッシャーを感じすぎて離れてしまふより、間違えたら謝って、お互いにつつかり合う勇氣と覚悟を持って関わろう、と思うようになりました。



そのなみさんの気持ちは僕が感じれなかった部分だから「そうかー!」って気づきがあつた。前になみさん、同性愛にちょっと偏見を持っている友達に、「私はLGBTQのコミュニティに参加してるけど、みんな私らとさんにも変わらへんよ。それぞれ好きな人がいて、いいことじゃない?」って言っ



てくれたんだよね。その人の価値観が変わるきっかけになるかもしれない言葉だなんて思って、嬉しかった。「アライです!」って表明して発信するのもすごくいいけど、そうやって身近な場面で動いてくれたり、傍にいてくれたりするだけで救われるときもある。いろんなサポートの仕方があるんだよね。



うん。私はどちらかというと、身近な人に話して伝える方が得意なんだと思う。

僕たち2人の関係性においても、決してなみさんだけが「サポートする側」ではないと思うんです。僕がなみさんに一方的に「理解してもらおう」というよりも、僕自身も、なみさんや、自分とは違うセクシュアリティを持つ人のことを知りたいし、支えたいって思っているから。だからなみさんと僕がやっていることはきつと同じで、僕も誰かの「アライ」なんじゃないかな、って思っています。





# 「当事者」じゃない。だから知るべきこと、だからできること。 どうすれば、 誰かの「アライ」になれる？



もりやま のりたか  
**森山 至貴**  
先生



誰かの「アライ」になるために、  
どのようなことを知るべきなのでしょうか。

相手がセクシュアルマイノリティの中でも、  
「どういうマイノリティなのか」について知識を  
持つ必要はあると思います。「アライ」は、基本  
的にセクシュアルマイノリティの当事者ではない  
マジヨリテイ（多数派）が「味方」であることを  
示す言葉ですが、相手がどんな人か知らないと味  
方になりようもないですよ。

ただ注意したいのは、相手が「LGBT」の  
どれなのか適当なラベルを貼ることができ  
る「知っている」ではないということなんです。  
「LGBT」の意味は最低限知っておきたいです  
が、そもそも「LGBT」以外にも多様な性には  
さまざまな形があるからです。

自分の性別をどのように認識しているかを表す  
「性自認」の概念や、恋愛や性的関心がどの対象  
の性別に向くか、あるいは向かないかを表す「性  
的指向」の概念からも分かるように、「性の要素」

は様々な要素に分解でき、それらは個々人の中  
で様々な組み合わせり方をしています。そのこ  
とを具体的に理解し、「この人の性のあり方は正  
確にはどのようなものだろうか？」と考えながら  
相手と接していくことが大事です。

私たちの社会は、「性別は男女の二つしかない」  
「異性を好きになって当然」「性別に従った服装  
をすべき」など性に関する様々な要素をひとま  
とめにして「普通」と呼んでいます。その上で「普  
通の性のありかた」と「普通じゃない性のありか  
た」を区別し、前者で「あるべき」で後者である  
ことは「正しくない」と両者の間に序列を作って  
います。

まずは私たちの周りの「普通」の概念に含ま  
れる様々な要素を知り、それらを分解していく  
ことも、当事者を「自分とは違うよくわから  
ない人たち」と括ってしまうために必要で  
しょう。

## profile

1982年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専  
攻博士課程単位取得満期退学。現在、早稲田大学文学学術院准教授。  
専門は、社会学、クィア・スタディーズ。著書に『ゲイコミュニ  
テイ』の社会学』『10代から知っておきたい あなたを閉じこめる  
「ずるい言葉」』がある。

マイノリティを支えるために、マジ  
ヨリテイ側が一歩踏み込んでマイノリ  
ティを理解しようとする必要があるの  
でしょうか。

マイノリティの内面にマジヨリテイが  
一方的に「分け入る」「一歩踏み込む」と  
いった構えだとうまくいかない気がしま  
す。実際はむしろ逆で、「相手の味方にな  
りたい、相手を支えたい」といった気持  
ちが本心に信頼に足るものなのか、マジヨ  
リテイ側もマイノリティから内面や「良  
心」をチェックされています。いくら「踏  
み込まれ」ようと、扉を開くかどうか決  
めるのはマイノリティ自身です。「支える」  
とは、むしろ自らが胸襟を広げて内面を  
チェックしてもらうことだ、という方向  
に認識を逆転させることが大事だと思  
います。

また、差別やマイノリティに関するセ  
ンシティブな話題になると、「相手のこと  
を軽々しくわかると言っただけじゃない」  
と言う人がいます。ある種の「良心」な  
のかもしれないが、「わかる」のハード  
ルを急に引き上げ、過剰に距離を取り、  
コミットしないことを正当化していない

でしょうか。「わかる」のハードルを不当  
に引き上げずにコミュニケーションを取  
り、双方にとって居心地のいい位置にハー  
ドルを設定することが大事です。

「アライ」を表明することには  
どのような意味があると考えますか？

私はセクシュアルマイノリティの当事  
者ですが、「私はアライです」の一言です  
んなりマイノリティに信頼してもらえ  
ると思うのはマジヨリテイの驕りだ、とい  
うのが正直な実感です。

そもそも人間関係とは、カテゴリーと  
カテゴリーではなく個人と個人の付き合い  
いなのですから、信頼を築けている間柄  
に「アライ」という言葉は必ずしも必要  
ではありません。にもかかわらず「アライ」  
であることを殊更にアピールする人には、  
うさん臭さを感じることが多いです。

だからといって、マジヨリテイ側が「ア  
ライだとアピールするのはうさん臭いの  
ではありません」と簡単に言い切り、セクシ  
ュアルマイノリティを差別するマジヨリ  
テイの中に埋没して欲しくもないのです。

「アライ」の表明は、差別的なマジヨリ  
テイに対して「自分は当事者ではないけ  
どあなたたちのような差別的なこととはし  
ない」とアピールする効力を持ちます。「自  
分は当事者じゃないから差別して当然だ」  
と主張する人に対して、「マジヨリテイだ  
からといって差別するわけではない」と  
いうことを「アライ」という言葉で示す  
ことには、重要な意義があると思います。  
「アライ」だと表明すればよいわけであ  
りませんが、表明したなら抗議や不満を  
受け止めてくれそう、と感じるマイノリ  
ティは多いはず。異性愛やシスジェ  
ンダーを前提とした社会では、どうして  
もマジヨリテイとマイノリティには非対  
称性があります。その中で対等な関係を  
築くためには、マジヨリテイ側がマイノ  
リティの声を受け止める「覚悟」を持ち  
ながらマイノリティとかわかっていくこ  
とが不可欠なのだと思います。

## 著書紹介



『LGBTを讀みとく  
クィア・スタディーズ入門』  
森山 至貴 / 著  
筑摩書房 2017



# 「アライ」を目指すあなたへのブックガイド

## 01. 多方面から基礎を学ぶ

「はじめて学ぶLGBT」  
「基礎からトレンドまで」



石田仁 著  
ナツメ社 / 2019

これまで入門書が取り上げてこなかった話題を含む10以上のトピックで、「LGBT」の基礎を解説。「見えていなかった」課題に気づく、触れる一冊に。

## 03. 「勘違い」に気づく

「LGBTとハラスメント」



神谷悠一・松岡宗嗣 著  
集英社 / 2020

相手のセクシュアリティについて侮蔑的な行動をとる「SOGIハラスメント」を防ぐには？「よくある勘違い」から法整備の流れまでコンパクトに解説。

## 02. 当事者の声と考える

「ひとりひとりの「性」を大切にできる社会へ」

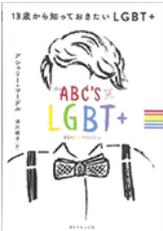


遠藤まめた 著  
新日本出版社 / 2020

「LGBT」をめぐる日本社会の「**ミスマッチ**」をトランスジェンダーの著者が、メディア、フェミニズム、自らの日常生活を通して語るエッセイ集。

## 04. 多様な性々々を実感する

「13歳から知っておきたいLGBT+」



アシュリー・マーデル 著  
須川綾子 訳  
ダイヤモンド社 / 2017

「LGBTU」だけじゃない、多種多様なセクシュアリティの形を当事者の声から紹介。複雑かつ豊かなバリエーションに「性のあり方は多様」が腑に落ちる。

参考資料の  
閲覧・貸出

図書資料はウイングス京都の図書情報室で閲覧・貸し出しできます！

(開室時間) 月～土 10:30～20:30 日・祝日 10:30～17:00  
(休館日) 水・年末年始・特別整理期間 (TEL) 075-212-0606

### Information

## 京都市パートナーシップ宣誓制度 令和2年9月1日に始まりました！

この制度は、双方又はいずれか一方が性的少数者である二人が、互いを人生のパートナーとして、日常生活において相互に協力し合うことを市長に宣誓し、市長が受領証等を交付するものです。これまで52組の方が宣誓されました(令和3年2月末時点)。

受領証等は、生活の様々な場面で、お二人の関係を説明される際に活用いただけます。例えば、市営住宅の入居申込みの時にも、お二人が宣誓したパートナーであることを示すためにお使いいただけます。



令和2年9月1日 交付式の様子

他にも、「京都市人権文化推進計画」に基づき、様々な取組を行っております。京都市情報館内の共生社会推進人権文化推進担当のページをご覧ください。

京都市 人権 検索

同性同士、LGBT等だからと特別に扱われず、その存在が当たり前の中で認められていくことを期待します！

(宣誓された方からのことば)

制度の詳細はこちら



京都市男女共同参画センター ウイングス京都

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下角 御射山町 262  
TEL : 075-212-7490 FAX : 075-212-7460  
https://www.wings-kyoto.jp/



『男女共同参画通信』  
バックナンバーが  
PDFで読めます！



〔発行〕京都市文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進担当  
令和3年3月 京都市印刷物第 023205 号

〔企画・編集〕公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会  
〔デザイン〕 早川宏美

